

県知事コメント

令和2年7月16日(木)

- 1 県内の米軍基地では、7月4日以降、新型コロナウイルス感染症が爆発的に拡大し、県としては、県民に感染が広がることを警戒していたところですが、本日、80代男性、沖縄市在住のタクシードライバーが、新型コロナウイルス感染症に感染したことが報告されました。容体は重症ではないことを確認しております。この方は日頃から米軍基地関係者を基地の中まで乗車させているため、感染の可能性を考慮し、検査を実施したところです。
- 2 県としましては、昨日、海軍病院と県の保健医療部との意見交換を開催し、基地内における医療体制や、今後の感染拡大防止に向け緊密に連携していくことが確認されました。在沖米軍の衛生当局から県の保健医療部には、疫学調査に必要な情報を全て提供いただくこととなっております。このような協力には、感謝するところです。
- 3 県としましては、今月12日に北谷町で実施した取り組みと同様に、軍関係者と接触した可能性の高い方々に対するPCR検査の実施にむけ、県医師会及び市町村と調整を進めているところです。

今後、調整が整い次第、市町村を通して検査の実施を御案内することとしておりますので、御案内のありました方につきましては積極的な受検をお願いいたします。
- 4 また、中部地区医師会や市町村と協力し、中部地区にPCR検体採取センターの設置に向け、調整を進めております。
- 5 さらに、米軍基地従業員等に対する検査を実施するため、沖縄防衛局や駐留軍労働者労務管理機構と調整し、検査の優先度別に従業員のリストアップを早急に進めていただいたいところです。
- 6 なお、先ほど入りました海軍病院からの情報では、本日も普天間基地内で2名の米軍関係者の感染が確認されたと報告をいただいております。

- 7 感染を拡大させないためには、県民一丸となった冷静で的確な対応をとっていただくことに加え、米軍としっかり情報共有することが必要だと考えております。米軍関係者との接触がある方は積極的にコールセンターにご相談ください。また、基地従業員やその家族等に対する偏見や差別的な取り扱いを行わないよう、お願いいたします。
- 8 県外では、首都圏を中心に多くの患者が発生している状態が続いております。夏休みを目前に控え、県をまたいだ人の移動も増えてまいります。県民の皆さまにおかれましては、引き続きこれまでおこなってこられた、手洗い、うがい、咳エチケット、三密回避等の「新しい生活様式」を実践し、新型コロナウイルスの予防策をしっかりと行ってください。県外に渡航された方、県外から来訪された方で風邪症状のある方は、コールセンター（098－866－2129）や、かかりつけ医などに早めに相談していただきますよう、お願いします。